

**森林セラピーガイド
養成研修会が開催されました**

3月4日、津別町林業研修会館・集會室で、森林セラピーガイド養成研修会（津別町地域再生プロジェクト推進協議会主催）が開催されました。

森林セラピーは、森の癒し効果が科学的に検証された「森林浴効果」で関心が高く、町内外から100人が研修に参加しました。

講師は、森林セラピストの資格を取得している斜里町のNPO法人知床自然学校理事長の関口 均さんと、参加者は、森林セラピー検定の対策、学習の方法を学びました。

検定試験は、6月6日に津別町と札幌市で行われます。



**全国から酪農業関係者が集まる
有機農業技術公開セミナーが開催**

2月24日、第7回有機農業技術公開セミナー（NPO法人有機農業技術会議主催、津別町・JAつべつ共催）が中央公民館で開催されました。今回のセミナーは北海道内では初めての開催で、全国の農業関係者ら約180人が「安全・安心の大規模農業を考える」をテーマに有機農業の推進についての講演に耳を傾けました。

講師には、学校法人酪農学園大学の麻田信二さんの基調講演を受け、道内の大規模畑作や流通業者、農水省担当官を交えたパネルディスカッションを実施しました。

また、交流会ではJAつべつの女性部等の手作り料理が用意され、約100人が参加し盛会に終了しました。

翌日の現地検討会では町内農家やベレッツト工場など施設の視察が行われました。

有機農業技術会議の木嶋利男さんをコーディネーターに迎えパネルディスカッションが行われました

2月27日、中央公民館・講堂で、活汲小・中学校などが出演したスプリングコンサートが開催されました。

活汲小・中学校リコーダーアンサンブルは、3月28日東京で開催される全国リコーダーコンテストに出場します。

コンサートでは、陸別小学校リコーダーアンサンブルクラブ、RECつべつ、津別混声合唱団、津別中学校吹奏楽部も、日頃の練習の成果を披露しました。

最後には、出演者全員による合同演奏が行われ、会場内は、見事な演奏に大きな拍手が送られていました。

**美しい音色が会場を包む
スプリングコンサートが開催**



2月21日、林業研修会館で傾聴講座（社会福祉協議会主催）が開催され、16人の町民が参加し「聴く」ことの大切さについて理解を深めました。

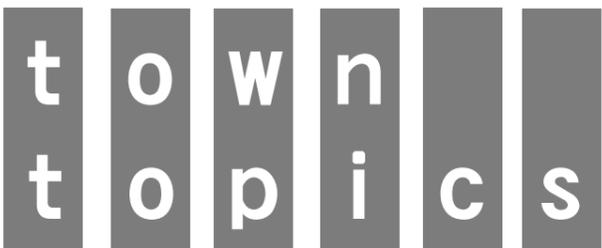
講師にはNPO法人北海道総合福祉研究センター理事長の五十嵐教行さんを招き「傾聴」するための心構えと技術」と題して6つの項目についてを講演を行いました。「聴く」ということは聴く側と言つ側で心情にズレがある。相手の気持ちや思い、考えなど、言葉に付随している気持を聴き取ることが大切ですよ」と伝え、参加者等は熱心にメモを取っていました。

2月20日、中央公民館で、社会教育講座（教育委員会・社会教育課主催）が、町内在住の鈴木利枝さんを講師に、エコクラフト教室が開催されました。

エコクラフト手芸とは、紙バンド（牛乳パックや古紙から再生されたリサイクル素材の細い紙ひもを並べて、帯状にしたもの）を使いバスケットやバックを作る手芸のことで、子供から年配の方まで楽しめるハンドメイドです。参加者は、細かな作業に四苦八苦しながらも、みんな楽しく「テーブルバスケット」作りに挑戦しました。



「言葉に隠れた思いを知って」傾聴講座に16人が参加



まちのわだい

**北海道ブロック大会で優勝
バトントワリング全国大会出場**

昨年12月19日、江別市で行われた全日本バトントワリング選手権・北海道ブロック大会（日本スポーツバトン協会主催）で優勝し、広島県立総合体育館で開催される全国大会に出場が決まった津別中学校3年生の三田実樹さんと津別小学校6年生の石井柚良さんが、3月9日に町長室を訪れ、全国大会出場の報告と抱負を述べました。

三田さんは「気持ち強く持って演技をしたいです」。石井さんは「今まで練習してきた成果を十分発揮したいです」と話されました。



佐藤多一町長は「今までやって来た集大成として、全国大会でも頑張ってください」と激励の言葉を贈りました。

3月9日、青葉幼稚園の『そらクラス』の園児16人が佐藤町長へ卒園式へのかわいい招待状を持ってきてくれました。

園児たちは初めて入った町長室に緊張しながらも「おはようございます」と大きな声で挨拶。代表の赤坂拓真くんが招待状を読み上げ手渡すと町長は笑顔で受け取りました。その後、町長の幼稚園時代の写真をいっしょに見たり、質問を行いました。「木は何本あるんですか？」「家は何戸あるんですか？」など9つの質問に答えました。最後は町長と記念写真と握手をしてお別れしました。



「卒園式に来てね！」青葉幼稚園児から招待状

**第5次社会教育中期計画
策定・答申がなされました**



3月16日、教育委員会・教育長室で、津別町社会教育委員 久保利治 委員長より阿部博道教育長に、第5次津別町社会教育中期計画（案）が答申されました。

津別町社会教育中期計画は、社会教育を推進するための中期的指針となる基本的・総合的な施策を定めたものです。今回の答申では、将来を視野に入れて、今後5年間に求められる施策・計画を検討し「個々人が地域で支え合い、学び合う中で、生きがいを見つけ、学習成果をまちづくりに反映させられる実りある社会教育を推進する」を目標に掲げています。